

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年五月度 入選句（投稿総数二千百十八句・小中学投句数千四百十九句）

### 特選

選者 相馬 みさ子

折り紙で作ってあげるカーネーション 大垣市

古田 晏寿(小五)

母の日に贈るカーネーションを折り紙で作ってあげようということだと思ひます。手作りに想いをこめて贈ろうとする作者の優しさにまず、拍手です。

どんなカーネーションができたのでしょうか。きつと、どのカーネーションよりもすばらしいと思ひます。作っている作者の姿とお母さんの笑顔が浮かんでくるようです。

とても温かい気持ちにさせてくれる一句です。

たきの水とうめいガラスできあがり 大垣市 にしうち たつや(小三)

滝の流れ落ちる様子を見て「とうめいガラスできあがり」と表現したところに作者の感性がよく出ています。まさに「とうめいガラス」というたとえは、適確ですね。

たきの水とうめいガラスで、ますます涼しさを感じさせる一句となりました。「たきの水」を「たき落ちて」とすると一句が三つに切れなくて、さらによいかと思います。

晩ご飯いっぱいだったつくしんぼ 大垣市 森 結衣子(小六)

晩ごはんのおかずにつくしの料理ができたのですね。しかも、そのつくしは、「いっぱいだったつくしんぼ」とあるように作者ががんばって取ったつくしだったのですね。きつとつくし取りのことを思い出しながらの晩ごはんは、おいしく楽しいものだったでしょう。「いっぱいだった」という体験が一句を生み、力強いものとなりました。体験から句を作ること、とても大切です。

### 秀逸

ハーピアン音色をのせよう春風に 大垣市 早瀬 帆夏(小五)

ひなまつりとくとうせきでおいわいだ 大垣市 渡邊 優太(小四)

菜の花の香りをかいで昼ねする 大垣市 西村 武琉(小五)

水とうにこっそりカルピス春遠そく 大垣市 橋本 翼(小五)

あめんぼう水上およぎにんじやかな 大垣市 藤墳 紅羽(小五)

川いっぱい若葉のかげがうめつくす 大垣市 那須 大次郎(小五)

船下りコイの家族に仲間入り 大垣市 森井 太一(小五)

春遠足小鳥の声を聞きながら 大垣市 川瀬 七海(小六)

緑色キラキラ光る豆ごはん 大垣市 豊田 礼麻(小四)

春遠足大発見の連続だ 大垣市 田中 一雅(小六)

入選

たんぼぼのわたげ旅立つ希望のせ 大垣市 榎並 美月(小五)  
 なつのかわこいのおやこがすいすいと 大垣市 たにふじ ゆづき(小三)  
 聞こえるよ若葉と風の話し声 大垣市 川瀬 英理香(小五)  
 つばめの子勇気を出して巣立ちする 大垣市 那須 春仁(小五)  
 お祭りでやまからたくさんかみふぶき 大垣市 吉田 ひびき(小五)  
 さくらんぼ赤い実二つくき一つ 大垣市 本郷 李 怜(小五)  
 なつつばめはやくてみえないひこうきだ 大垣市 なわりようすけ(小二)  
 イチゴ狩りいくつたべるかきそいあう 愛知県名古屋市 木村 陽(中二)  
 道ばたであいさつひびく春遠足 大垣市 安田 美 槻(小六)  
 友達と話がはずむ春遠足 大垣市 川瀬 優菜(小六)

入選

原っぱは桜のじゅうたんピンク色 大垣市 木村 ひな胡(小六)  
 サクラとねいっしょにむかえるしんきゆしき 大垣市 高木 柑菜(小四)  
 さやえんどうふくろのなかのなかまたち 大垣市 みやわき いろは(小二)  
 こいのぼりのってそらをとびたいな 大垣市 たなはし そう(五才)  
 新しい友達できた新学期 美濃加茂市 井戸 由佳(中二)  
 船下り水面ピンクの春の川 大垣市 川地 翔太(小六)  
 カーネーションきもちをこめてプレゼント 神奈川県川崎市 そんく りお(小四)  
 はなばたけちようちよの好きな花はどれ 大垣市 藤本 琴子(小五)  
 かたつむりからだをのぼしはしわたり 大垣市 早川 莉里(小四)  
 新学期ドキドキしちゃうクラスがえ 大垣市 坂尾 真弦(小四)

選者吟

床の間に背筋のぼして花菖蒲  
 みさ子